



2019

令和元年度 業務案内

公益財団法人 鳥取県建設技術センター

けんせつ
愛



わたしたちは、**未来**につなげる架け橋でありたい

小・中学校への出前講座、図書館へのけんせつ絵本のおはなし会等も行っています

代表理事からのごあいさつ Top Message

皆様には日ごろからご高配を賜り誠にありがとうございます。



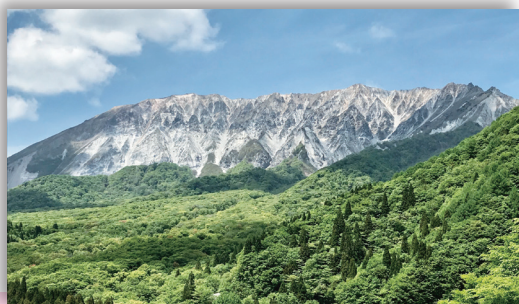
鳥取県建設技術センターは、昭和57年に設立され、「公共工事等に関する発注者支援」、「建設資材の試験及び調査研究」、「技術研修」、「建設発生土の処分」の事業を柱に社会資本整備の推進と建設産業の発展のため活動して参りました。

しかし、近年は、建設産業を取り巻く環境はきびしく、「人口の減少」、「高齢化」、「情報化」等の社会変化に伴い、建設生産物に対するニーズは多様化、高度化する建設需要に的確に応えていく必要があります。

建設産業は今後も、内需拡大の柱である社会資本等の整備の担い手としてますます重要な産業として期待されています。

当センターにおきましても社会環境の変化を的確に捉え、そのニーズに積極的に応え、良質な建設生産物等を提供し、活力と魅力ある建設産業への支援が大きな役割となります。

令和の時代を迎え、新たな意気込みで、多様化するニーズに対応するため、技術力に更なる磨きをかけながら「親切丁寧」、「敏速」、「正確」、「信頼」を胸（モットー）に、インフラの品質確保、人材育成、建設産業の魅力発信、地域の安全・安心等の支援に新たな視点で積極的に取り組み、地域の皆様の信頼と期待にお応えしてまいります。



西日本屈指の美しさを誇る名峰・大山

公益財団法人鳥取県建設技術センター

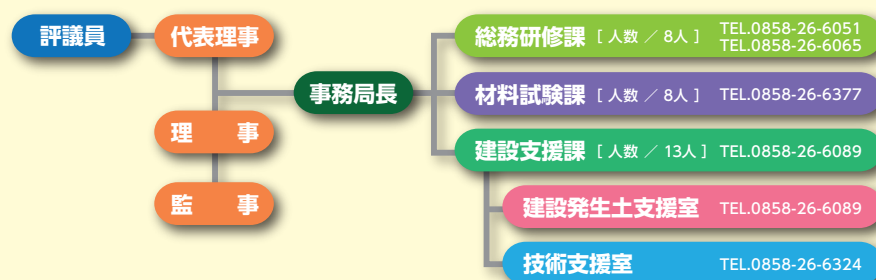
代表理事 山田 和成



■ 概 要

- 名 称 公益財団法人鳥取県建設技術センター
- 設 立 年 月 日 昭和57年4月1日
- 基 本 財 産 8,900,000円(自己資本6,900千円)
- 所 在 地 〒682-0018 鳥取県倉吉市福庭町2丁目23番地

■ 組織図



～表紙の写真について～

- ① おはなし会ワークショップ
- ② 魅力発信講座（小学校）
- ③ 殿ダムにてダムカレー出店
- ④ 橋梁補修アドバイス業務
- ⑤ けんせつ絵本おはなし会
- ⑥ 建設発生土受入事務所

研修



研修事業の3つの柱

■技術力の向上並びに若手技術者の人材育成

「技術者の健全な育成を支える研修」

「インフラ長寿命化計画を支える研修」

「若手技術者研修の拡充」



ドローン実演

小中学生を対象に建設産業への関心や就業意識を高めるための講座を行っています。

とっとり建設産業の魅力発信講座
(3小学校、1中学校)



高校生を対象に現場見学会を行っています。

橋梁工事見学



測量実習研修

自主研修(49研修)、鳥取県からの受託修(21研修)

●新人・若手技術者の建設産業への定着につながるよう、現場で必要となる基礎的知識や技術を丁寧に解説するとともに、実技・演習を取り入れた現場で役立つ実践的な研修。

●AI(人工知能)やICT(情報伝達技術)の急速な進展に対応する研修。

●鳥取県建設分野担い手確保・育成連携協議会の取り組みとして、職場体験学習、工事現場見学等を実施します。



測量体験のようす

中学校職場体験学習を県内全域で行っています。

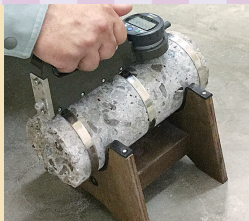


舗装補修工事見学

けんせつ絵本のおはなし会を図書館、児童センターで行っています。



試験



試験事業～品質向上を目指して～

■公共工事の構造物の適正な品質確保を目的に使用される主要建設資材の材料試験を行っています。骨材、コンクリート、鋼材、アスファルト、土質材料、水について、鳥取県土木工事施工管理基準に基づく建設材料の品質管理試験（6試験分類74試験項目）を行っています。

当センターは公的試験機関であり、産業標準化法試験事業者登録制度（JNLA）に基づく登録試験事業者です。（ISO/IEC 17025（JIS Q 17025）に適合した試験事業所）



【JNLA登録試験項目】骨材試験－5項目 コンクリート試験－3項目

●橋梁等コンクリート構造物の劣化診断に用いる試験を行っています。

コンクリート	コアの圧縮強度試験(JIS A 1107,1108)
	コンクリートの静弾性係数試験 (JIS A 1149)
	コンクリートの中酸化深さの測定(JIS A 1152)
	硬化コンクリート中に含まれる塩化物イオンの試験 (JIS A 1154)
	コンクリートの残存膨張量試験(JCI 法)
	コンクリートの残存膨張量試験(アルカリ溶液浸漬法)

■調査研究

建設材料に関する調査研究
（研究テーマ）

- 軟弱土の改良
- リサイクル材を用いたポーラスコンクリート、軽量コンクリート
- ひび割れ抑制対策として膨張コンクリート

●レディーミクストコンクリートの練混ぜに用いる水の試験は、吹付工など、現場練りのモルタルなどに使用する水の品質管理にもご利用下さい。

練混ぜに用いる水	懸濁物質の量	} (JIS A 5308 附属書 C)
	溶解性蒸発残留物の量	
	塩化物イオン(Cl ⁻)量	
	セメントの凝結時間の差	
	モルタルの圧縮強さの比	

●三軸試験を行っています。盛土材の強度確認などにもご利用下さい。

土質	土の非圧密非排水三軸圧縮試験(UU試験) (JGS 0521)
	土の圧密非排水三軸圧縮試験(CU試験) (JGS 0522)
	土の圧密排水三軸圧縮試験(CD試験) (JGS 0524)



コンクリートの強度試験体験
（センターまつり）



硬化コンクリート中に含まれる
塩化物イオンの試験
（TIF Net※を通じた鳥取大学との連携）

※TIF Net 「とっとりイノベーションファシリティーネットワーク」は、県内の研究機関が連携し設備の共有、人材の交流を行うネットワーク

技術 支援



技術支援事業～公共工事発注者支援～

■発注を効率的に行えるよう県・市町村公共工事の積算補助、現場技術補助、検査補助及び橋梁補修アドバイス業務、災害復旧の技術支援を行います。

橋梁補修アドバイス業務



橋梁の専門家による技術的アドバイス



補修前



補修後

塗装塗替え、防護柵補修事例

災害復旧支援業務



災害発生時の被災状況調査、復旧工法等のコンサルタントとの協議、査定設計書作成、実施設計書作成及び現場技術業務等の災害復旧工事に係わる一連の作業を支援。

積算業務



積算業務

現場技術業務



渡漁港内水排除施設築造工事

公共工事の現場技術業務を補助し、変更設計書を作成

ドローンを活用した技術支援

公共施設の管理・点検補助、災害時の状況把握等の幅広い支援。



国道181号岸本バイパス（伯耆町）

建設発生土受入



建設発生土事業

～安全な建設発生土処理と跡地の有効利用～

■公共工事から発生する建設発生土の適切な処理及び有効利用を図り、公共事業の円滑な執行により社会資本整備の推進に寄与しています。建設発生土は、埋立や盛土の材料として土地造成などに利用できる再生資源です。

□：事業区域

【稼働中の事業所】

岩美第二事業所 (岩美郡岩美町宇治) (受入土量：20万m³、面積：4.0ha)



本事業は平成3年から開始し、平成30年度までに44事業所を運営し、42事業所が建設発生土受入事業を完了しています。受入完了後は跡地利用に沿った形状にして地権者に返還し、農地・グラウンド等に有効活用されています。

【跡地の活用事例】

鳥取市国府町三代寺 (受入土量：118万m³、面積：10.0ha)



鳥取市河原町小倉 (受入土量：95万m³、面積：10.2ha)

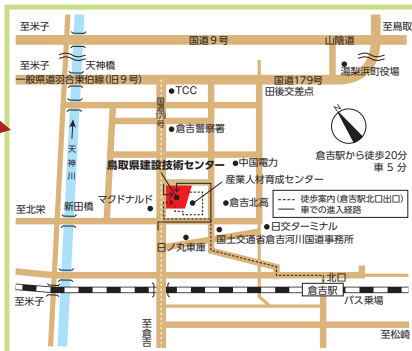


公益財団法人 鳥取県建設技術センター

〒682-0018 鳥取県倉吉市福庭町2丁目23番地
TEL.0858-26-6051
FAX.0858-26-6052



アクセス



■総務研修課 / TEL0858-26-6051 FAX0858-26-6052
[研修・図書 / TEL0858-26-6065]
■材料試験課 / TEL0858-26-6377 FAX0858-26-6052
■建設支援課 / TEL0858-26-6089 FAX0858-26-6004
[建設発生土支援室 / TEL0858-26-6089]
[技術支援室 / TEL0858-26-6324]



フェイスブックで情報発信しています。QRコードはコチラから

技術センター facebook



担い手協議会 facebook